

SCSKグループは、成長戦略としてサステナビリティ経営を推進しています。
経営理念を事業の起点として、マテリアリティの実現に取り組むことで、
事業を通じた社会課題の解決や新たな価値の創出を図り、
「2030年 共創ITカンパニー」を目指します。

2 事業活動

コンサルティング

システム開発

検証サービス

ITインフラ構築

ITマネジメント

ITハード・ソフト販売

BPO

ビジネスに必要なITサービスからBPOに至るまで、
フルラインアップで提供



社会の課題を解決し、
持続的な事業成長を目指す
マテリアリティ

☞ P.19

共創の企業文化

顧客との共創

社会との共創

夢ある未来に共感しあえる
ステークホルダーとの共創を推進

サステナブルな社会の
実現への貢献

3 価値の創出

社会価値

- 豊かな未来社会
- いきいきと活躍できる社会
- 安心・安全な社会

経済価値

- 収益の拡大
- 株主価値の増大
- 資本効率の向上

事業を通じた社会課題の解決や
新たな価値の創出を継続的に実現

〈SCSKの目指す姿〉

2030年 共創ITカンパニー

ITの、つぎの、幸せへ。 ☞ P.22



持続的な成長を支える基盤としての
マテリアリティ

☞ P.19

経営理念

私たちの使命

夢ある未来を、共に創る
お客様からの信頼を基に、
共に新たな価値を創造し、
夢ある未来を拓きます。

☞ P.3

1 経営資源

財務資本

持続的な成長を支える
堅固な財務基盤

知的資本

社会や顧客の課題を
解決する技術力

自然資本

地球環境に貢献する
事業活動

社会関係資本

優良な顧客基盤と
健全なバリューチェーン

人的資本

多様なスキル・経験を持つプロフェッショナル人材
新たな価値を社会に提供し続けるWell-Being経営

事業活動を支える5つの資本を利活用することで、
ダイナミックな事業を展開

経営資源の
充実・拡大
(アウトカム)

SCSKグループを取り巻く外部環境

技術のパラダイムシフト

社会課題・社会トレンド

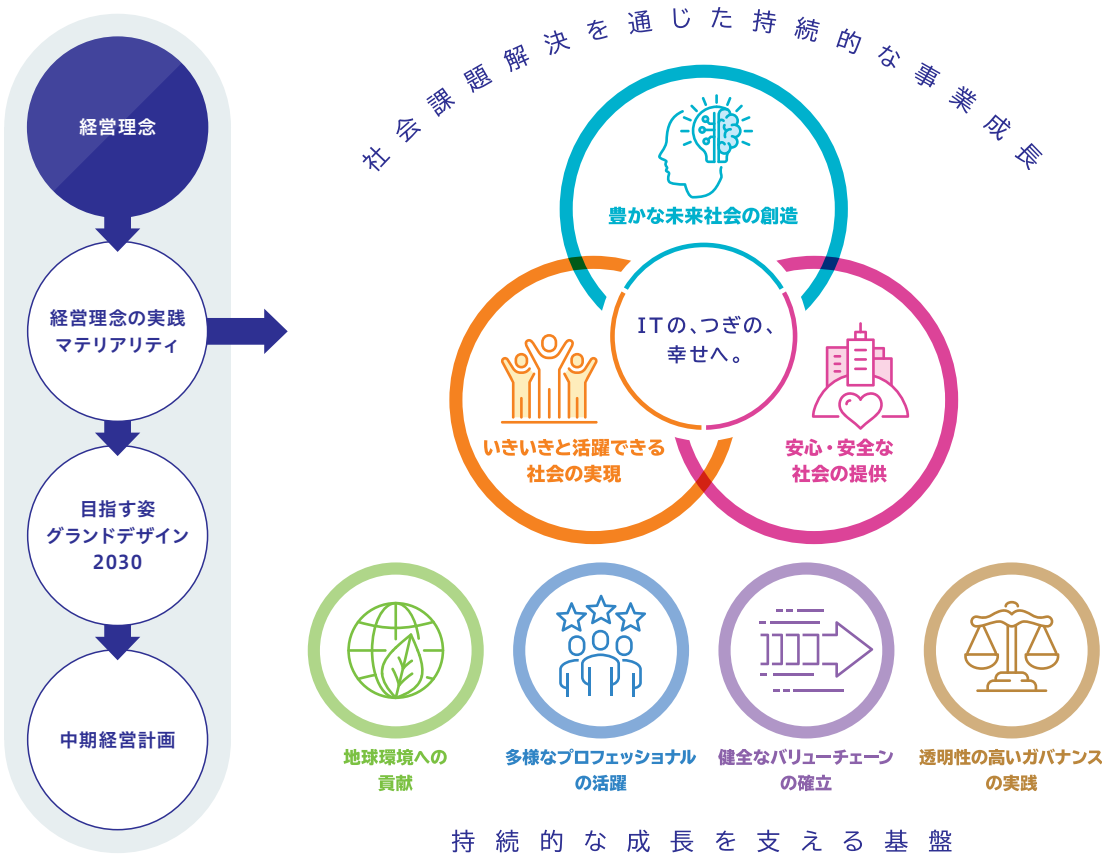
グループの成長戦略としてのサステナビリティ経営

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の下、成長戦略としてサステナビリティ経営を推進しています。

事業活動が環境・社会に与える影響を継続的に評価し、その改善を進めることに加え、脱炭素や循環型社会の実現に向けた事業環境の変化をチャンスと捉え、我々のコアコンピタンスを活用した新たな事業機会を獲得し、社会とともに持続的に成長する、社会が必要とする経済価値と社会価値の創出をより一層加速してまいります。

SCSKグループのマテリアリティ

近年、気候変動問題への対応や顕在化された地政学リスク、AI技術の急速な発展などにより、急激な社会環境変化が生じ、社会課題の複雑化・深刻化が進んでいます。企業には業種・業界を問わず、事業を通じて社会課題を解決し、社会とともに持続的に成長する経営が求められています。SCSKグループでは「夢ある未来を、共に創る」という経営理念の実践に向けて、社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題をマテリアリティとして策定しました。



社会課題解決を通じた
持続的な事業成長

事業活動を通じて「3つの社会」を実現することで、社会の課題を解決し、持続的な事業成長を目指していきます。3つのマテリアリティは相互に関連しあい、「ITの、つぎの、幸せへ。」とつながります。

持続的な
成長を支える基盤

ESGを主軸にした取り組みを加速させることで、SCSKグループの経営基盤を盤石にすると同時に、上部に位置する3つのマテリアリティの実現に向けた基盤をつくっています。

ITの、つぎの、幸せへ。

ITというものが別の言葉で表現されるようになるかもしれない未来においても、SCSKグループが人々の幸せを支え、持続的に成長し続けることを表しています。

マテリアリティの見直し

経営環境や社会課題が大きく変化する中、マテリアリティ策定時からの外部環境および事業構造の変化を捉え直し、さらなる持続的成長の実現に向けて、2026年度にマテリアリティの見直しを実施しました。

マテリアリティ策定・見直しプロセスについてはこちら
<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiality/process.html>



マテリアリティに関する指標と目標についてはこちら
<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiality/kpi.html>



有識者ダイアログ

マテリアリティの見直しにあたり、社会環境/社会課題の変化を踏まえ、中長期的な企業価値向上に向けて当社がステークホルダーから期待される社会的役割や、SCSKグループの目指す姿についてご意見をいただくため、サステナビリティ分野の有識者である蘭田綾子氏との対話を実施しました。



株式会社クレアン
代表取締役会長
蘭田 綾子氏

有識者ダイアログの詳細についてはこちら
https://www.scsk.jp/corp/csr/dialogue/dialogue_materiality_202603.html



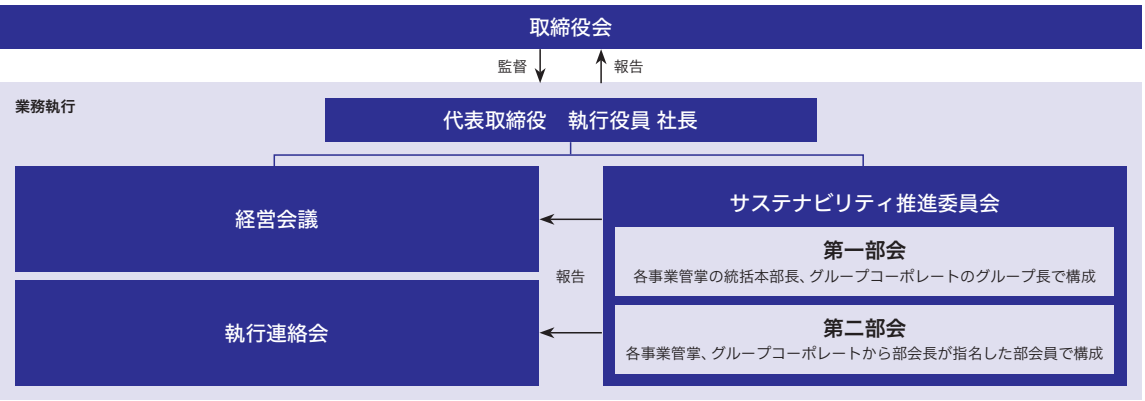
マテリアリティ項目	内容	関連するSDGs
 豊かな未来社会の創造	デジタル化がもたらす社会や産業への大きな変化を見据え、お客様やパートナーと共創しながら、社会課題解決に寄与する革新的な事業やサービスを通じて、快適で豊かな未来社会を創造します。	
 安心・安全な社会の提供	さまざまなお客様やパートナーが業界の垣根を越えてつながりあう、強靱でかつ信頼できるビジネスプラットフォームを提供することで、日常生活や企業活動の質を高め、安心・安全な社会を支えます。	
 いきいきと活躍できる社会の実現	地域や国を越えて事業を展開することで、当該地域の成長・発展に貢献し、人々が多様な個性を活かしながら、いきいきと活躍できるよりよい社会を目指します。	
 地球環境への貢献	気候変動や自然資本の損失による事業への影響に適応するとともに、デジタル技術を活用し環境に配慮した事業活動の実践や事業機会の創出・拡大を通じて、より良い地球環境の実現に貢献します。	
 多様なプロフェッショナルの活躍	Well-Being経営を推進し、人権の尊重はもとより、多様なスキル・経験をもつプロフェッショナル人材が、その多様性と専門性を活かしながら新たな価値創出に挑戦し、活躍・成長し続けられる機会と職場の実現に取り組みます。	
 健全なバリューチェーンの確立	情報セキュリティやコンプライアンスの徹底、ならびにWell-Beingの向上に取り組む、環境や社会に配慮したバリューチェーンを確立することで高品質で安心・安全なサービスを提供し、お客様の持続可能な成長と社会の発展に貢献します。	
 透明性の高いガバナンスの実践	経営の効率性と健全性の両立および経営の透明性の確保をコーポレート・ガバナンスの基本と位置づけ、コーポレート・ガバナンス体制の強化および情報セキュリティ等への適切な管理体制を構築し、社会からの信頼を確保し、企業の社会的責任を果たします。	

サステナビリティ経営の推進およびガバナンス体制

SCSKグループの成長戦略であるサステナビリティ経営の推進に関わる、全社的な課題やマテリアリティごとの取り組み施策の確認や検討のため、代表取締役 執行役員 社長の諮問機関としてサステナビリティ推進委員会を設置しています。

サステナビリティ推進委員会は、企画・サステナ推進・広報グループ長を委員長とし、第一部会と、第二部会から構成されています。サステナビリティ推進委員会での検討内容は、定期的に経営会議および執行連絡会に報告され、全社的な経営に係る観点でさらなる議論を行った後、サステナビリティ推進委員会から取締役会へ報告を行い、適切に監督される体制を整えています。

サステナビリティに関するガバナンス体制



サステナビリティに関する各会議体の役割

取締役会	サステナビリティに関する重要事項および経営会議での議論内容について、定期的に委員会からの報告を受け、監督を行う。
経営会議	サステナビリティに関する重要事項や取り組み状況について、定期的に委員会からの報告を受け、全社的な経営に係る観点から決議を行う。
執行連絡会	サステナビリティに関する重要事項や取り組み状況について、定期的に委員会からの報告を受け、全社的な経営に係る施策について議論を行う。
サステナビリティ推進委員会	第一部会 サステナビリティに関する全社的な課題、取り組み施策の検討や確認を行う。検討した結果は、適宜、経営会議・執行連絡会・取締役会へ報告を行う。
	第二部会 サステナビリティ経営、マテリアリティの理解浸透・文化醸成に必要な事項の議論や検討を行うとともに、エバンジェリストとして自組織への浸透活動を推進する。

2026年3月期の取締役会での主な報告事項

- サステナビリティ経営推進体制とサステナビリティ推進委員会の活動報告
- 成長戦略としてのサステナビリティ経営の推進活動の報告
- 持続可能なサプライチェーン構築に向けた取り組み報告
- 人権尊重に関する取り組み報告
- 英国現代奴隷法に係る声明の年次公表への対応報告
- 温室効果ガス排出量の算定と前期比較分析の結果、環境に関する課題と対応に関する報告
- 社会貢献活動の概要と活動報告

グランドデザイン2030

SCSKグループは、経営理念とマテリアリティをSCSKグループの存在意義とした上で、中長期の目指す姿として2021年3月期に「グランドデザイン2030」を策定しました。グランドデザイン2030 では、お客様やパートナーとともに社会課題の解決に貢献するビジネスを創り出すことによって、「2030年 共創ITカンパニー」の実現を目指しています。

グランドデザイン2030では、SCSKグループの本質的な企業力を向上すべく、“総合的企業価値”の飛躍的な向上を図るとともに、従来とは非連続な価値創出を前提に社会課題の解決をリードする一流の会社を目指すことを意図する「売上高1兆円への挑戦」を掲げています。

このグランドデザイン2030の実現に向け、社会課題の解決を牽引し、圧倒的な存在感と影響力を持つ事業群を展開する企業グループを目指します。高度な技術力と市場から得られる洞察を基に独自のポジションを確立し、すべてのステークホルダーから選ばれる存在として、持続的な進化と成長を実現していきます。

2030年
共創ITカンパニー

～ITの、つぎの、幸せへ。～

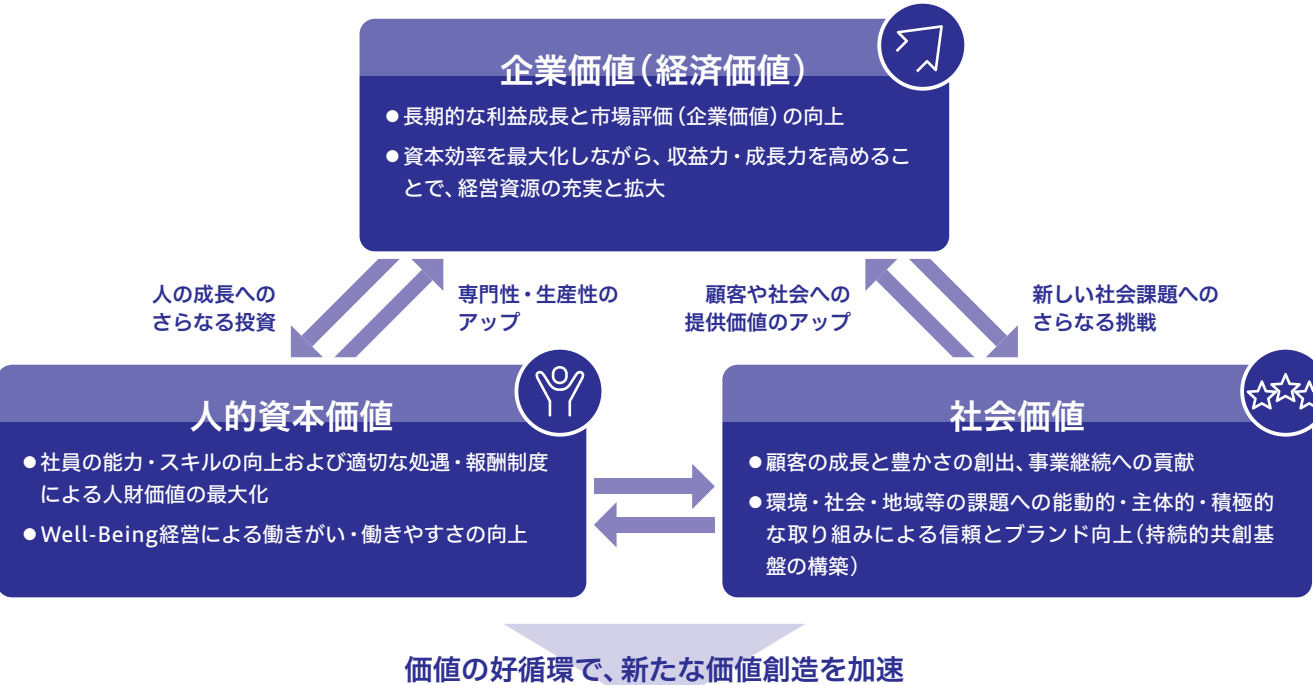
SCSKグループの人的資本力の向上をもって、お客様やパートナー、社会との共創を推進し、各種課題に対し、価値提供し続ける企業グループへ

総合的企業価値の飛躍的向上

売上高1兆円への挑戦

SCSKの「総合的企業価値の飛躍的向上」

企業価値（経済価値）のみならず、社会価値、人的資本価値等の非財務要素を含めて総合的企業価値として捉え、3つの価値を好循環させることが総合的企業価値の飛躍的向上、さらにお客様への提供価値や社会への貢献の最大化につながります。



目指す企業像 社会課題の解決を牽引し、圧倒的な存在感と影響力を持つ事業群を展開する企業グループ